

令和7年度

教育みらい夢基金を活用した主な取り組み

郷土博物館 少年少女文詩集「デジタルともしび」の設置

常設展示リニューアルの一環として、市内小中学校の作文・詩集『ともしび』から高度経済成長期の様子を記した作文等をまとめた展示資料「デジタルともしび」を製作しました。

本資料は、展示資料の充実として展示リニューアルの効果を高めるだけではなく、同世代の子ども達が歴史に触れ郷土史への興味関心の深化を促すうえで非常に有益なものとなりました。

○子ども達の声

- ・資料を通して、高度経済成長期の様子と、すごいスピードで大きく変化する様子を実際に見ていた子ども達の声、喜びや悲しみを知ること、千葉市の歴史を身近に感じることができました。
- ・音を聞けることで、（※プロの録音による情感豊かな朗読が楽しめる）ただ文章を読むよりも、展示に夢中になりました。

○職員の声

- ・展示リニューアルのコアターゲットである子ども達、又は親子が楽しめる展示の充実をすることができた。

デジタルともしび



加曽利貝塚博物館 子ども・親子向け撮影スポット用看板の作成

博物館正面に設置している顔出しパネルが老朽化していたため、新たなパネルを製作・設置しました。

学校の団体見学や家族連れの来館時に人気の撮影スポットとなっていた現行の顔出しパネルは、老朽化が顕著だったため、今回、新たな顔出しパネルを製作・設置したことで、安全に撮影できる環境を確保するとともに、今後も来館記念として継続的に活用できる体制を整えることができました。

○利用者の声

- ・ かそりーぬかわいい。（利用者）
- ・ 色が鮮やかできれいです。（利用者）
- ・ 日付があっていつ来たか分かるのがうれしいです。良い記念になりました。（利用者）
- ・ 大人が乗ると踏み台が沈んでいたため、新しくなって安心しました。（職員）

顔出しパネル



特別支援学校教育活動推進事業

生徒が作業学習で製作する各種製品・生産物の原材料（消耗品）等を購入し、お客様のニーズに可能な限り応えられるよう、質や量の向上及び新製品の開発に取り組みました。

物価高騰の中、教育みらい夢基金により原材料を不足なく購入することができ、生徒たちの学習活動が充実するとともに、製品の販売等を通して本校の取組を周知することができました。

○文化祭や販売会における、子ども達や来場者の声

- ・クラスや学年を超えて協力することの大切さを実感できました。（生徒）
- ・メモ帳作り体験は初めて行ったが、うまくできてよかったです。教え方が丁寧でわかりやすかったです。（来場者）
- ・心を込めて制作した品物を、大切にに使わせていただきます。（来場者）

主な成果品



～この他にも、様々な事業で活用しました～

こども・若者会議の設置（開催に係る費用等）



プレーパーク運営事業（消耗品購入）



フリースクールとの連携事業（図書購入）



学校安全事業

（セーフティウォッチャー用腕章の購入）



技術・家庭教育センター事業(電動ミシンの購入)



成果品

東部児童相談所 一時保護所学習室拡充事業(備品購入)



図書館の児童書購入事業



その他

- ・音楽教育センター事業
- ・こころの劇場（芸術鑑賞）
- ・理科教育推進事業
- ・養護教育センターで使用する知育玩具等の購入
- ・子ども交流館管理運営事業
- ・こどものまち CBT 事業
- ・青少年サポート事業
- ・児童相談所で使用する運動器具等の購入 など